

第2回策定委員会での各委員からの御意見への回答

資料2

番号	発言委員	意見要旨	回答	該当ページ
1	佐々木委員	施策17について、児童生徒に幼児も付け加えてほしい。	「児童生徒」、「幼児」、「子どもたち」という表現を全体的に見直し、基本的には「子ども」を用い、対象が限定される場合には「児童生徒」「幼児」を用いるようにしました。	P10、17、26など
2	内田委員	「レガシー」に注釈がいると思う。	用語解説に記載しました。	P10、95
3	佐々木委員	不易流行の不易の部分、思いやりの心や命の大切さといったものも大事であり、「幼児期の終わりまでに育ててほしい10の姿」にも書かれている。どこかにそういった記載があってもいいと思う。	施策の基本方向の「豊かな心と健やかな体の育成」に、「人格形成の基礎が培われるといわれる乳幼児期からの育ちや学びが、その後の教育へと円滑につながるよう、」と追記しました。 また、「幼児期の終わりまでに育ててほしい10の姿」は用語解説に記載しました。	P13、95
4	湯浅委員	「基本項目6家庭・地域での教育の充実」の「教育」を「学び」や「教育力」などに変更してはどうか。	ご意見を踏まえ、「家庭・地域での学びの充実」に変更しました。	P15、17、29
5	湯浅委員	施策22「青少年の健全育成運動を推進します」から運動を削除できないか。	策定委員会で同意をいただいたことから「運動」を削除しました。	P17、29
6	麻植委員	施策3の全教育活動での道徳教育について、もう少し詳しく捉えた方がいいと思う。	全教育活動の具体例を文頭に追記しました。 「道徳科はもとより、各教科、総合的な学習の時間及び特別活動などの全教育活動で・・・」	P19
7	中瀬委員	施策3の人権同和教育研究大会について「・」は要らないか。	「・」を挿入し、「人権・同和教育研究大会」に変更します。	P19
8	内田委員	もう少し性教育や性犯罪について踏み込めないのか。	施策5の保健教育に「性教育」を追記しました。 また、施策22に、インターネットに起因する性犯罪等の防止に関する取組を追加しました。	P19、29

番号	発言委員	意見要旨	回答	該当ページ
9	麻植委員	施策6について、地域協働校の活動は社会性が学べる機会だと思うので、「地域との連携」を入れてもらいたい。	ご意見を踏まえ、「地域との連携」を追記しました。	P20
10	中瀬委員	施策7のインクルーシブ教育について「受け入れる環境を整備します。」という記載は適切なのか。	「受け入れる環境整備を推進します。」に変更しました。	P20
11	麻植委員	施策9の読書活動により、学力の向上や考える力の育成につながる点を追加できないか。	施策9の読書活動は、「2. 確かな学力の育成」に位置付けていますので、原案どおりといたします。	P22
12	岡委員	施策10の基礎学力向上のための取組で、学力の基礎に当たる一つ目の項目が弱いと感じる。	項目を増やすとともに、学び方の具体例を挿入しました。 ◇少人数学級編成や少人数指導など、個に応じたきめ細かな指導を行います。 ◇子どもたちが自ら課題に応じた学習計画を立て実行するなど、進んで学ぼうとする力を身につけるための指導を行います。	P22
13	麻植委員	施策10の基礎学力向上のための取組をもう少し詳しく書いていただきたい。	◇各校において学力向上策を策定し、全教職員で取り組みます。また、学校相互の交流を図り、市全体の学力を高める取組を進めます。	
14	内田委員	施策11に「チームティーチング」とあるが、「チーム」という言葉が出ている。使い分けているのか。	文部科学省での使い分けを参考に「チームティーチング」のみ「チーム」とし、その他では一般的な「チーム」を使います。	P22
15	岡委員	「読書が好き」など、読書に関する指標を追加できないか。	「読書が好き」と答えた児童生徒の割合を指標に追加しました。	P23
16	麻植委員	問題になっている教員間のいじめについても、道徳教育や学校経営に含められないか。	施策13の3項目に、サービス管理を追加することで教職員の不祥事対策を追加しました。 「・・・個々の教職員の目標管理とサービス管理を行います。」	P24

番号	発言委員	意見要旨	回答	該当ページ
17	麻植委員	施策 15 のコミュニティ・スクールについて、まちづくり協議会との連携を打ち出せないか。	コミュニティ・スクールは学校外の様々な機関との連携が考えられますことから、まちづくり協議会との連携を特出しして記述することは難しいと考えますので、原案どおりといたします。	P26
18	内田委員	施策 17 の外国語を母語とする子どもに対して通訳よりも異文化コーディネーターによる支援はできないか。	通訳の時間を増やし、通訳だけでなく、教育相談業務も拡大していけるよう、検討していきます。 (人材確保・育成、信頼関係など課題があるので、計画の文言は原案どおりといたします。)	P26
19	湯浅委員	「情報発信ができていない」の指標について、5.0 の達成は厳しいのではないか。	ご意見を踏まえ、指標の達成目標を変更しました。 (最終 4.8)	P27
20	麻植委員	施策 20 の安全対策について、市長部局等との連携の記載があってもいいのかと思う。	通学路の安全対策の前に「交通安全・防犯・防災の関係機関と連携しながら」を追記しました。	P29
21	岡委員	施策 20 に通学路の安全・安心の部分を入れてほしい。		
22	麻植委員	施策 20 の安全安心の確保の中に、SNS など情報化による危険性についても触れてはどうか。	インターネットに起因する性犯罪等の防止に関する取組を追加しました。	P29
23	麻植委員	施策 23 の地域協働合校の取組をもう少し詳しく記載してほしい。	「学校教育と連携し、郷土愛や専門的な学びを深めるような地域活動を通して子どもの育成を目指します。」と変更しました。	P29
24	糸乗委員長	地域協働合校の解説と、コミュニティ・スクールの違いをわかりやすくしてほしい。	用語解説のコミュニティ・スクールの欄に、地域協働合校との違いを記載しました。	P29、92
25	糸乗委員長	施策 24 に「地域の身近な課題や特性を生かした豊かな学び」とあるが、課題を生かすのかという疑問を持つ。「身近な課題」という言葉がどこにかかるのか、わかりやすくしてもらいたい。	「身近な課題に着目し、地域の特性を生かした・・・」に修正しました。	P31

番号	発言委員	意見要旨	回答	該当ページ
26	麻植委員	施策 24 について、図書館とまちづくり協議会・まちづくりセンターとの連携についても記載してもらいたい。	「地域の中の情報拠点として、市民に役立つ図書館運営に努めます」に含まれる事業の中に、他施設・他機関との連携やコミュニティ情報の収集が包含されていますので、原案どおりといたします。	P31
27	糸乗委員長	指標の「生涯学習・スポーツの充実に満足している」が、生涯学習とスポーツのどちらによる影響か評価が難しい。分離した指標があるといいと思う。	当該指標以外に適切な指標がないことから、原案どおりといたします。	P32
28	麻植委員	文化・芸術の振興の取組内容に「文化振興計画に基づき」という記載ができないか。	「基本項目8 文化・芸術の振興」全体が文化振興計画に基づいた施策のため、個別に記載はいたしません。文化振興計画を踏まえ、一つ目の項目を「誰もが文化に触れることができるよう、文化・芸術活動の支援と各種事業の充実に努めます。」に変更しました。	P33
29	麻植委員	施策 30 について、行政だけが事業の充実や担い手の育成をするように見える。市民自らのプロデューサー、コーディネーターの育成という言葉があってもいいのではないか。	「産学公民の連携により、多様な主体がそれぞれの役割を果たしながら、文化・芸術活動の担い手の育成に努めます。」に変更しました。	P33
30	麻植委員	文化財の保存と活用の取組内容に「歴史文化基本構想に基づき」という記載ができないか。	P10 の「今後取り組むべき主な課題」の中で、基本方向3に「草津市歴史文化基本構想等に基づき…歴史資源の保存と活用を進める必要があります。」とその前提を明らかにしていることから、P32 については原案どおりといたします。	P34

番号	発言委員	意見要旨	回答	該当ページ
31	麻植委員	施策 33 の「歴史資産を生かしたまちづくり」は、市長部局や地域との連携が必要不可欠なので、連携についても記載してはどうか。	市長部局との連携については、第6章の「各部局の横断的な取組」として、各部局が緊密に連携し、情報共有を図り、効率的で効果的な取組を進めるとしており、施策の事業内容として記載しないこととしますが、事業の実施にあたり地域との連携は、不可欠であることから、施策 33 の2点目を「まち歩きや文化財の周遊、環境整備等に向けた取組について、市民や地域と共に考え、地域の歴史資産の活用を進めます。」に変更しました。	P34
32	麻植委員	施策 34 について、市民自らプロデュースするということがあってもいいのではないか。	ご指摘のように、本市の歴史文化を市民の誰もが「自らプロデュースする」ことができることを目標として捉えておりますが、今後5年間に取り組むべき施策の内容としては、まず、市民や子供たちが歴史文化に触れ、親しむ機会づくりの充実に努めるものとし、記載内容については原案どおりといたします。	P34
33	湯浅委員	「学校と協力しながら」を「学校および家庭と協力しながら」に変更してはどうか。	ご意見のとおり変更しました。	P35
34	麻植委員	「市長部局が所管する」の前に「子育て、福祉、観光、まちづくり、環境、防犯」などの例示ができないか。	「子育てや福祉、まちづくりなど」という例示を追加しました。	P36
35	湯浅委員	「健やかセミナー」と「みんなとトーク」を入れてほしい。青少年主張発表大会での成果も入れてほしい。	「すこやかセミナー」については、各小学校区で実施の有無を判断をされることや、明確な支援を行っていないため、未記載とします。 「みんなでトーク」、「青少年主張発表大会での成果」については、追記しました。	P59

番号	発言委員	意見要旨	回答	該当ページ
36	湯浅委員	「家族構成の変化に伴い」にひとり親家庭も含まれるのかなと思うが、専業主婦の減少、親の介護などにより、以前のような子ども会や PTA の活動はできなくなっている。そのあたりも追記できればと思う。	追記し、以下のとおり修正しました。 「青少年育成団体を支える大人の減少（共働き、残業、介護等）や、核家族化による負担増（育児、家事等）、子どもの生活習慣の変化（習い事、塾、少年団等）に伴い、団体によっては活動が難しくなっている。」	P60